

第2次計画の取組内容・成果・課題

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
こども未来室 (保育園・幼稚園含む)	未就園の乳幼児	★育児教室や園庭開放時に読み聞かせや絵本に触れ合う機会の充実	育児教室では、集まった乳幼児や保護者向けに絵本の読み聞かせをしたり、絵本の面白さなど知らせ保護者に絵本に親しみ興味を持ってもらうよう取り組む。	参加して、保護者が色々な絵本を知ること子どもたちに読み聞かせをしてみようと思うという意見も聞くことができた。		
		★絵本貸し出しの実施	育児教室や園庭開放、一時保育利用者等が絵本を手にとって見やすい環境を作り、絵本に興味を持ち、貸し出しが出来るような取り組みをしている。	未就園児への貸出頻度：その都度貸し出し 1回に貸出せる冊数：1冊 期間：1週間 平成29年度はなかったが、平成30年度は数人貸し出しをしている。		
		★啓発資料の提供	子どもの好きな絵本リストなどを作成し、園内に掲示し、育児教室や園庭開放に来た保護者へ知らせたり話をしたりする。	子どもの好きな色々な絵本を紹介することで、子どもに読み聞かせをしてみようとする人もいた。		
		★子育て支援センター等における資料の充実(こども未来室)	子育て支援センター(5園)の親子教室で月に2～3回程度、絵本の読み聞かせを行っている。	各園、月2～3回 年約30回		
		★エンゼルハウスや子育てサークル等に対する支援の充実(こども未来室)	エンゼルハウス(5団体)等の親子教室で月に2～3回程度、絵本の読み聞かせや、本の貸出(一部のエンゼルハウス)を行っている。	各団体、月2～3回 年約30回		
	保育園・幼稚園児	★保育園・幼稚園における蔵書の充実	年度ごとに絵本を増やして子どもたちが色々な絵本に触れ合えるようにしていく。	蔵書冊数：各園500冊以上 色々な絵本があることで貸し出しを楽しみにしていたりし、絵本に興味を持っている。		
		★本と触れ合う機会の提供	日々の保育の中ではもちろん、絵本貸し出しを毎週行ったり、園によっては毎日貸し出しをしたり、月に一度親子貸し出し絵本の日などを作り親子での触れ合う機会を作っている。	年間の貸出冊数：各園1人あたり約50～60冊 貸出頻度：各園週1回 1回に貸出せる冊数：1～2冊 期間：5～7日 忙しい日々の中でも、意図的に貸し出し絵本日があることで、子ども自身が借りたい、お家の人を選んで欲しいと要求するなど、親子で絵本に触れるきっかけ作りになっている。	保育園では毎週絵本貸し出しを行っているが、家庭に持ち帰ってから親子で絵本を楽しむ余裕がなく借りても子どもが1人で見たり、借りたことを忘れてそのまま持ってくるといった状態が多々見られる。	
		★日常的な読み聞かせ(保護者との連携による読み聞かせを含む)	日々の保育の中での読み聞かせはもちろん、半日保育などで、保護者の人に絵本を選んでもらい子どもたちに読み聞かせをしてもらったり、地域のイベントでの読み聞かせなどの取り組みをしている。	実施の頻度：各園毎日の保育の中での読み聞かせを毎日1冊、半日保育で保護者に1冊 半日保育の中で保護者の絵本の読み聞かせをしているが、毎年半日保育を実施することで、保護者の方が絵本に関心を持ち、選んで子どもたちに読み聞かせを楽しんでしてくれている。	保護者に絵本を通して子どもとの触れ合う時間を作ってもらいたいと思うが、長時間保育の子どもが多い中、なかなか保護者に余裕がなくゆとりとした時間が持てていない現状がある。	

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★園だより、クラスだより、絵本だより等での啓発	絵本だよりを発行したりクラスだよりなどで子どもたちが今どんな絵本に興味があるのかや、新刊絵本の紹介や絵本のあらすじなど紹介し保護者に興味を持ってもらい子どもと共有できる時間になるよう取り組む。	実施回数:各園、園便り、クラス便り、絵本便り等で30回くらい	保護者がもっと絵本の楽しさを感じて欲しいと感じる。	
		★ボランティアによる読み聞かせの充実	年齢にあった絵本の読み聞かせを図書館司書の人や地域のボランティアの人に来てもらい、いつもと違う雰囲気の中で絵本に触れる機会を作っている。	実施の頻度:各園、月1回年12回 子どもたちは毎回楽しみにしていて、絵本やお話に興味を持ち夢中に見ており、長い時間集中して見る事ができるようになった。また聞く体勢も身についてきている0歳児でも、「おしまい」と言うと、首を横に振って、「もっとー」と言うようになっている。		
		★職場体験や保育実習で読み聞かせの機会をつくる	職場体験で地域の中学生在が読み聞かせをしてくれることで親近感が湧き絵本に興味を持ったり、保育実習生と園児が絵本を通じて親しむことが出来るようにしたりする。	実施回数:各園、保育実習受け入れ 年4人×2週間(10回)=約40回 職場体験 年5人×2回=約10回 合計 各園 約50回		
		★保育士・幼稚園教員のための研修・講座(こども未来室)	ちやいんどネット研修などの実技講座で「絵本との出会い。子どもたちが”おもしろい”と感じる絵本との出会い作り」の研修に参加したり、大阪保育子育て人権研究集会で絵本作家の方の「子どもたちに届けよう。絵本を通して豊かな文化を」の話を聞き、絵本の楽しさを職員が味わいました。	色々な研修に参加することで、絵本の楽しさを職員が感じ、子どもたちにどのような絵本にであってほしいか。子どもたちが、楽しいなと感じる絵本を私たちが届けることが出来るかを考えながら絵本に触れることが出来ているように思う。		
	図書館 利用が 困難な 子ども	図書館 利用に 支援が 必要な 子ども	★実態の把握	未実施		
			★実態に応じた提供方法等についての方策の検討	未実施		
			★保育士・幼稚園教諭のための研修(こども未来室)	未実施		
		日本の 生活に 慣れて いない 子ども	★実態の把握	未実施		
			★実態に応じた提供方法等についての方策の検討	未実施		

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
指導室 (小・中 学校含 む)	小・中学生	★読書習慣を身につける取組	・朝の読書の実施 ・小学校では、週に1回図書館に行く時間を設定 ・ビブリオバトルの実施 ・ブックトークの実施	・朝の読書は平成29年度に30校園中29校園で実施 ・小学校では、週に1回もしくは隔週に1回の割合で図書館に行く時間を設定している学校が多い ・ビブリオバトル、ブックトークなど図書館に来てもらう、本に興味を持ってもらう企画を実施	小学校で平成32年度から授業時数が増えることに伴い、朝の読書の時間を確保することが難しくなることが予想される。	
		★学校図書館の資料の充実	・各学校園図書館の蔵書割合を考慮しながらの選書の実施 ・学校図書館図書標準の達成	・NDC別蔵書構成が、小学校ではほぼ全国平均と同じになっている。 ・和泉市全体で見れば、学校図書館図書標準を達成している。	NDC別蔵書構成は、学校メディア規準からはまだ遠い現状	
		★学校・学年だより・図書館だより等での啓発	・図書館だより・ブックガイドの発行	・図書館だよりは25校園で発行。新しく図書館に入った本や、今月のおすすめの本など、少しでも子どもが本に興味を持てるように工夫されている。 ・ブックガイドは8校で発行。ブックガイドを通して子どもが新しい本と出会うきっかけとなっている。		
		★ボランティアによる読み聞かせの充実	・地域の読み聞かせボランティアグループとの連携	※派遣を依頼した回数(1期間で1回と数える) 実施回数:年14回(市内学校園延べ)		
		★市立図書館へ行く機会をつくる	・各学園で、職場体験事業を実施 ・地域めぐりのコースに設定	・市立図書館における職場体験事業の受け入れ ・地域めぐりのコースとして設定することで、普段市立図書館を利用しない子どもが市立図書館を利用するきっかけとなっている。		
		★小・中学生による保育園・幼稚園での読み聞かせの実施	・部活動やボランティアとして保育園・幼稚園での読み聞かせの実施	中学生による幼稚園・保育園での読み聞かせを2校で実施。また、ブックフェスティバルとして、地域を巻き込んだ取り組みを実施している学校もある。		
		★市立図書館との連携	・職場体験事業の受け入れ ・団体貸し出しの利用	・職場体験や団体貸し出しなどで連携を図り、調べ学習のときなどに、学校の蔵書を補うことができ助かっている。		
		★司書教諭等の研修(指導室)	・司書教諭研修の実施	・司書教諭研修を年2回実施。夏休みに、京都産業大学の太田教授に講演頂いた。年度末には先進的な取組を行っている学校に、報告・発表を行ってもらい、次年度への方向性を、中学校区ごとに協議した。		

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★学校図書館支援 司書の配置・育成 (指導室)	・学校図書館支援司書を 各校園への配置 ・支援司書連絡会の実施	・学校図書館支援司書を 全校園へ配置 ・国加配により、学校司書 を1校へ配置(平成28年 度～) ・小中学校別に支援司書 連絡会を定期的の実施 し、情報の共有並びに研 修を実施している。		
		★読書感想文集等 の作成(指導室)	・読書感想文集の作成	・課題図書、自由図書に 対しての感想文を全児童 生徒から募集し、優秀作 品を選定し、小中学校別 に「読書感想文集」を編 集・発行することにより、 子どもたちへ読書の楽し さを伝えている。		
	図書館 利用が 困難な 子ども	★実態の把握	・各校園の支援学級担任 との連携	・各校園の支援学級担任 と連携を図り、個別の状 況など、実態の把握に努 めている。		
		★実態に応じた提供 方法等についての方 策の検討	・各校園の支援学級担任 と連携し、個に応じた方 策を検討	・各校園の支援学級担任 と連携し、介助員や支援 学級担任、通常学級担任 による支援など、個に応 じた方策を検討している。 また、方策が子どもの実 態にあっているかどうか、 各校園と情報共有しながら 検証している。		
		★支援学校や図書 館との情報交換	未実施			
		★市立図書館へ行く 機会をつくる	・生活科や社会科の地域 学習、支援学級の自立活 動における図書館見学	・自立活動や地域学習に おける見学先に図書館を 設定することにより、市 立図書館へ行く機会を作 り、市立図書館を子ども 達が利用するきっかけに なっている。		
		★図書館利用に支援 が必要な子どもの読 書活動推進の研究・ 実践(指導室)	子どもに読書習慣を身 につける取組の実施	・朝読書や学校図書館を 活用するなど、子どもに 読書習慣を身につけさせ るための取組の中で、支 援が必要な子どもへの関 わりについても研究に取 組んでいる。		
		★教職員のための研 修(指導室)	障がい理解等の教職員 対象研修を実施	・教職員へ研修を実施し 、個々の状況に応じた支 援や対応の充実を図って いる。		
		★実態の把握	各校園の日本語担当教 員との連携	・各校園の日本語担当教 員と連携を図り、日本語 の習得状況など、実態の 把握に努めている。		
	日本の 生活に 慣れて いない 子ども					

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★実態に応じた提供 方法等についての方 策の検討	・各校園の日本語担当教 員と連携し、個に応じた方 策を検討	・日本語担当教員と連携 を図り、個に応じた方策を 検討している。日本語担 当教員を中心に日本語指 導を実施し、日本語の習 得を深め、段階に応じて 読書を楽しめるように努め ている。		
		★図書館との情報交 換	未実施			
健康づく り推進室	未就園の乳幼 児	★ブックスタート事 業、すくすくタイムに おいての連携・協力	4か月健康診査、1歳6か 月児健康診査、3歳6か 月児健康診査において、 ブックスタート事業の周知 啓発の場を提供した。	健康診査の待ち時間等 で、図書館のスタッフの方 に読み聞かせをしていた ことで、時間の有効活 用とともに絵本に接する 機会を多くの保護者に提 供することができている。 ＜健康診査受診者数＞ 4か月健康診査:1, 283 人 1歳6か月児健康診 査:1, 384人 3歳6か 月児健康診査:1, 429人		
生涯学 習課	未就園の乳幼 児	★出前講座等の充 実	「読み聞かせ講座」「絵本 と子育て」に加え平成28 年度よりTRCシティプラザ 図書館、TRC和泉図書館 スタッフによる「おなはし 会」をメニューとして2件追 加した。	実績16件 (読み聞かせ講座 5件 絵本と子育て 5件 おはなし会 6件)	毎年同じ団体からの 申請が多いため、こ ども未来室や図書館 等子育て世代が集ま る場にメニューを設 置しPRする必要がある。	
読書振 興課	0～18歳の児 童全体	★子どもの読書活動 推進協議会の設置	協議会において、毎年取 り組んだ事業の報告を行 いながら、関係団体をはじ めとする子どもの読書に 関わる方々から取組内容 や新たな施策についての 意見を伺う機会を設けた。	協議会で出た意見を元 に、新たな事業を取り入 れることができた。 また、それぞれの場で取 り組んでいる読書活動に ついて情報交換や情報共 有を図ることができた。		
		★市立図書館の蔵 書の充実	年々蔵書を増やせるよう 努力した。 年度:児童書(児童・ ティーンズ・コミックの冊数 の計)/子ども(0～18歳) 一人当たりの蔵書数 平成25年度:163,001 冊/4.3冊 平成26年 度:177,691冊/4.7 冊 平成27年度:184, 121冊/5.0冊 平成 28年度:190,124冊/ 5.3冊 平成29年度:1 96,436冊/5.6冊	蔵書は増やすことが出来 たが、18歳以下の子ども の利用は年々減少してい る。 年度:18歳までの子ども の実利用率(1年間で図 書館を1回でも利用したこ とのある人数÷人口) 平成25年度:26.6% 平成26年度:24.7% 平成27年度:25.9% (※北部リージョンセン ター図書室開室) 平成28年度:24.7% 平成29年度:23.9%	図書館を利用したこと がない子どもに來 館してもらえるよう な施策について検討す る必要がある。	
		★講座・講演会の開 催	小学生までの子どもや親 子を対象とした講演会に 加え、子ども中高生の読 書離れを懸念することか ら中高生向けの講演会を 開催した。 平成26年度:イラストレー ター・中村佑介氏 平成27年度:Shion(大阪 市音楽団) 平成28年度:空想科学研 究所・柳田理科雄氏	開催できなかった年度も あったが、アンケート結果 からほとんどの参加者か ら「とてもよかった」「よ かった」の感想を得ること が出来た。しかしながら、 講演会の参加者は、ほと んどが図書館利用者であ り、新たな利用者確保に は至っていない。	図書館を利用したこと がない子どもに來 館してもらえるよう な施策について検討す る必要がある。	

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★図書館ボランティア連絡会の開催	図書館ボランティア連絡会を毎年開催した。	ボランティアの情報交換の場を提供することができた。		
図書館	未就園の乳幼児	★親子のスキンシップを深める機会の応援	【TRC】(TRC各図書館での実施事業) 6つの定例行事と特別行事の実施 ・こどもまつり、おりがみ教室、おうたの日、手づくり教室、おはなしの日、工作教室、夏休み科学実験教室、夏休み工作教室 【にじ】(にじのとしょかんでの実施事業) 読み聞かせボランティアによる月2回「えほんのひ」実施	【にじ】 実績 19回実施 延べ148人参加		
		★親子で図書館に来てもらえる場の提供	【TRC】 6つの定例行事と特別行事の実施 こどもまつり、おりがみ教室、おうたのひ、手づくり教室、おはなしのひ、工作教室、夏休み科学実験教室、夏休み工作教室、おやまのがっこう(南部) 【にじ】 読み聞かせボランティアによる月2回「えほんのひ」実施。赤ちゃんから家族で参加できる親子ライブ、人形劇等実施。	【TRC】 実績 4,122人 【にじ】 人形劇「象つかいソムポット」大人82人 こども69人 合計151人		
		★図書館行事のPR・利用の推進	【TRC】 ①「ブックスタート」「フォローアップ」時に図書館行事のPRを実施②和泉、シティプラザ2館で実施している「生涯学習出前講座」において行事をPR③図書館だより、館内チラシポスターでのPR 【にじ】 広報、コミュニティ紙掲載、いずみメール、児童文学館ホームページ、チラシ等。	【にじ】 定員の多い行事では大抵100人前後の行事参加者あり。		
		★ブックスタート事業の継続・充実	【TRC】 ①読み聞かせトレーニングの実施:担当者が読み聞かせスキルの向上を目指してトレーニングを実施 ②寄贈本のタイトルの見直し:4冊中2冊を平成30年度から順次入れ替える。			

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★すくすくタイムの実施	【TRC】 ①「赤ちゃんの図書館デビュー」をコンセプトに平成23年から和泉図書館でスタートし、平成28年からはシティプラザ、北部でも実施②乳幼児連れの利用者が遠慮せずに本を選べるようアナウンスするとともに、手遊びやお話し会も実施	【TRC】 実績 1,017人		
		★ブックリストの作成	【TRC】 赤ちゃん・乳幼児向けのブックリストを作成し、年齢にふさわしい絵本を紹介している。	【TRC】 保健センターでの4か月健診のブックスタート時に配付している。		
	保育園・幼稚園児	★保護者に対する日常的な読み聞かせの奨励	【TRC】 ①保健センターでの「フォローアップ」時に読み聞かせを実演し、奨励②「あおぞら読みメン隊」で、お父さん、お爺さんの読み聞かせを奨励③市の「出前講座」で出張して読み聞かせを実施			
		★図書館で本と触れ合う機会の提供	【TRC】 館内読み聞かせの実施 【にじ】 随時、園から図書館に来館し読書タイムもしくは読み聞かせボランティアによるお話タイム提供	【TRC】 国府幼稚園 52人(和泉) 【にじ】 実績 2回実施 73人参加		
		★子どもの年齢に応じた本の提供	【TRC】 「あかちゃんえほん」「知育絵本」「ディズニー絵本」「外国語絵本」等のコーナーを作り、成長に応じた絵本を選んでもらうことができる。(和泉・プラザ)			
		★図書館見学の受入	【TRC】 幼稚園・保育所からの見学受け入れを実施	【TRC】 実績 北池田幼稚園 10人(シティプラザ)	【TRC】 小学生中心で、幼稚園・保育所からの見学受け入れは少ない。	
		★団体貸出	【にじ】 市内数園への毎月1回貸出	【にじ】 多様な絵本の提供可能		
		★ブックリストの作成	【TRC】 未就学児向けのブックリストを作成し、年齢にふさわしい絵本を紹介している。	【TRC】 保健センターでの3歳半健診時に配付(和泉・プラザ)		
	小・中学生	★学校への団体貸出	【TRC】 積極的に対応している。 【にじ】 お話会の依頼を受けた学校へ必要に応じて貸出実施	【TRC】 実績 2,115冊 【にじ】 学級文庫の蔵書を豊かにする手助けになった。先生への読み聞かせ奨励		

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★図書館へ来てもら う工夫	【TRC】 ①YAコーナーのPOP充 実、コーナー展示の実施 ②図書館お手伝い隊」の 実施 【にじ】 本を読むばかりでなく随 時、折り紙、工作、編み 物、かるた、積み木等を提 供している。	【TRC】 ②お手伝い隊実績 149 人(和泉図書館) 【にじ】 図書館での滞在時間が長 くなった。		
		★宿題・課題の支援	【TRC】 ①「図書館を使った調べる 学習コンクール」の主催 (3館共催)②「調べ学習 出前講座」の実施(和泉・ プラザ)③図書館での「調 べ学習ミニ講座」の実施 (3館)④読書感想文お助 け袋(プラザ) 【にじ】 コーナーの設置	 【にじ】 ほとんどはコーナーの本 を活用した。		
		★ブックリストの作成	【TRC】 この5年間で以下のパ ターンを製作し配付 ①小学校1・2年生向け ②小学校3・4年生向け ③小学校5・6年生向け	【TRC】 対象学年の全校生徒に毎 年配付している。		
		★学校配送	【TRC】 積極的にアピールし実施 している。	【TRC】 実績 22校 1,575冊		
		★1日図書館員の実 施	【TRC】 和泉、プラザ2館で毎年実 施している。	【TRC】 実績 4回 12人(2館 計)		
		★図書館見学の受 入	【TRC】 各館ともに積極的に受け 入れている。 【にじ】 受け入れている。	【TRC】 小学生受入実績 2,57 8人 【にじ】 受入実績 伯太小学校 6人		
		★夏休み行事の実 施	【TRC】 積極的に実施 ①夏休み科学実験教室 ②夏休み工作教室 ③こわ〜いお話し会 ④夏休みこども映画会 【にじ】 「英語であそぼう!世界 はともだち」「戦争と平和 を考える上映会2回」「科 学あそび」「作って遊ぼ う!」「おりがみであそぼ う」「おはなしかい」	【TRC】 実績 536人 【にじ】 実績 168人参加		
		★小・中学生への読 み聞かせ指導の実 施	【TRC】 郷荘中学校「おはなしボラ ンティア隊」育成支援	【TRC】 実績 6回 延べ89人		

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
		★学校図書館担当者との連絡会議の開催	【TRC】 ①小学校図書館部会研修会参加 ②小学校学校図書館支援司書会議出席 ③中学校学校図書館支援司書会議出席	【TRC】 基本的に毎年1回参加している。①では「調べる学習コンクール」のミニ講座を実施、②③ではコンクールの案内を中心にお話した。		
	高校生	★図書館へ来てもらう工夫	【TRC】 ①YAコーナーのPOP充実、コーナー展示の実施 ②「YA VACATION」の製作・配布(和泉) ③「ぶらたむ」の制作・配布(ブラザ) 【にじ】 チラシの配布			
		★参加型イベントの開催	【にじ】 みつろうからろうそく作り実施。近隣高校生の連続3年間の取組	【にじ】 実績 21人参加		
		★ティーンズ資料の充実	【TRC】 ティーンズコーナーを設置し、コミックを含めその世代にとって関心の高い資料を揃えている。(和泉・ブラザ) 【にじ】 ティーンズコーナー新設	【にじ】 冊数は100冊前後だが予約、貸出あり。		
		★高等学校への団体貸出	未実施			
		★高等学校図書館と図書館との意見交流会	未実施			
		★高校生への読み聞かせ指導の実施	未実施			
	図書館利用が困難な子ども	★図書館を利用しやすい工夫	【TRC】 LL版図書館案内の製作・設置(市内3館)			
		★図書館見学の受入	【TRC】 和泉支援学校(見学+館内読み聞かせ) 【にじ】 要望があれば対応可能	【TRC】 実績 2回 28人(和泉)		
		★障がい者資料の提供	【TRC】 マルチメディアDAISY、さわる絵本、LLブック	【TRC】 LLブックのみ貸出し実績あり		
		★情報の提供	未実施			

担当 部署	対 象 者	事 業	概ね5年間の 取組内容	成 果 (数値の実績は平成29年度)	課 題	備 考
	日本の生活に慣れていない子ども	★外国語絵本の活用	【TRC】 外国語の読み聞かせ(プラザ)	【TRC】 実績 1回 29人		
	病院に入院中や図書館から遠く離れた地域に住む子ども	★実態の把握	未実施			
		★実態に応じた提供方法等についての方策の検討	未実施			
	0～18歳の児童全体	★行事の実施	【TRC】 映画上映会の実施(和泉・プラザ) みんなでシネマ、夏休み子供映画会 【にじ】 音楽会、ワークショップ、写真展、作品展、人形劇等	【TRC】 【にじ】 こどもを中心とした幅広い年代の参加をめざした。		
		★児童専任の司書配置	【TRC】 児童担当司書を配置している。 責任者1人、担当者7人(和泉) 責任者1人、担当者3人(プラザ)			
		★図書館利用のPR	【TRC】 図書館だよりの作成と配布 ①一般向け ②児童向け 【にじ】 出前講座や行事の時にPR	【TRC】 ①②をセットにして市内の小中高全校に配付している。		
		★図書館職員の資質向上策	【TRC】 各種職員研修の実施 ①TRC社内の習熟度に応じたステップアップ研修 ②TRC社内の専門分野のテーマ別研修 ③府立・私立・大子連等の外部の司書研修	【TRC】 実績 年間 179回 延べ452人が参加		